

# 中島議員の 一般質問について

令和5年3月定例会から12月定例会までの  
主な一般質問とその答弁

中島議員の一般質問動画



6月



12月

## 6月定例会

『学校教育の充実に向けた豊田市の取組』(一部抜粋)

### インクルーシブ教育推進の取組

**Q.質問** 特別支援教育の現状及び通級指導教室の課題は?その課題に対して何かの対策は?

**A.答弁** ▶現状として、特別支援学級及び通級指導教室の対象となる児童生徒数が年々増加していることが挙げられる。

▶課題は通級による指導を初めて担当する教員が多いため、指導力の向上が必要なことである。

▶対策としては令和4年度より特別支援教育アドバイザーによる巡回指導訪問を実施し、指導・助言を行うことで、教員の力量向上を図っている。

**Q.質問** 国連からインクルーシブ教育に関してはまだまだ不十分であると改善勧告があり、改善に向けて取り組まなければならないと考えるが、今後、インクルーシブ教育推進に向けた取組は?

**A.答弁** ▶インクルーシブ教育を推進する上で、児童生徒一人一人が必要とする指導や支援を受けられるよう、通常の学級や特別支援学級、特別支援学校など、学びの場を選択できることが重要であると考え、市では、本人や保護者の意向を尊重して、就学先を決定している。

▶それぞれの学びの場の指導や支援を充実させるために、今後も教員への研修や学級運営補助指導員等の配置、合理的配慮の充実に努めていく。

## 12月定例会

『生活道路における交通安全対策の取組』(一部抜粋)

### 生活道路における歩行者への安全対策の取組

**Q.質問** 生活道路上の通学路における歩行者の安全確保に向けた物理的な対策として、重点的に取り組んでいる具体的な内容は?ゾーン30プラス内での対策は?

**A.答弁** ▶生活道路上の通学路においては、安全のみどり線、ぴかっとわたるくんの設置や必要に応じて防護柵を設けるなど児童の安全確保が図られる取組を重点的に実施している。

▶ゾーン30プラス内の通学路については、歩車分離ブロックから防護柵への変更と併せ、歩道を拡幅し、車道を狭くすることで速度抑制及び歩道内の安全確保を図る対策も導入している。

『駅及び駅周辺整備と利用者の利便性向上』

### 駅及び駅周辺におけるトイレの整備

(一部抜粋)

**Q.質問** 改札の外へのトイレ整備について、多目的トイレの整備を含め、豊田市として今後の方向性は?

**A.答弁** ▶改札の外へのトイレ整備については、豊田市地域公共交通計画の考え方に基づいて対応するが、周辺整備の状況等により、個別に対応することも想定している。

▶多目的トイレについては、駅利用者が1日当たり3,000人以上の場合には、鉄道事業者によりバリアフリー化の義務が発生するため、基準を満たしている駅は、鉄道事業者に整備を働きかけていく。

▶整備の際は、鉄道事業者からの支援要請に基づき、国の補助制度の活用を検討し、連携を図っていく。

## 中島議員(市議会会派・新しい風とよた)の討論について

令和5年3月から12月定例会までの主な賛否討論

### 同意 加齢性難聴者の補聴器購入に対する助成制度の創設を求める請願書について

身体障害者手帳交付対象外となっている難聴者に対して補聴器購入に関する公的助成が無い場合、身体障害者手帳所持の難聴者と比べると、自己負担が大きいという声を実際に聞いており、早急解決すべきであると考えます。また、以前に国に対して、身体障害者手帳の取得条

件を聴力55デシベル以上への緩和、軽度・中等度聴覚障害者への補聴器など福祉機器の助成の充実などに関する「聴覚障害者における社会環境の整備を求める要望書」を提出した経緯を踏まえ、当事者としてもぜひ緩和できるようお願い申し上げ、本請願に同意いたします。

### 反対 市長や市議会議員等のボーナスの引き上げ

議員や特別職の処遇等については、報酬等審議会の答申を尊重すべきとの立場ではありますが、同時に市民理解も必須であると考えています。とよしん景況レポートの2023年7月から9月期の景気動向調査結果によると、豊田信用金庫全業種総合はマイナス17と低調です。業種別では製造業、建設業、卸・小売業が大きくマイナス、持ち直しつつあるように見えた不動産業は10~12月期には落ち込みを予想しています。このようにまだまだ景況感が高まっていない状況であり、ウクライナ情勢や急激な円安による物価高騰による市民の暮らしがひっ迫し、国も市も物価高騰に対する各種取組をしております。このような中、議員や特別職の期末手当の引き上げは市民理解が得られないと判断します。よって本議案には反対致します。

### 賛成 高校世代までの医療費完全無償化について

対象者にとっても本当にそれが最善なのか、それを取り巻く周辺環境にとっても、弊害はないのか、その予算があれば、他に優先すべき施策はないのかとの観点で、議案の審査を行いました。対象拡大に伴う年間必要額約4億円は、決して小さいものではありませんが、安心して子どもを育てられる環境の向上、子育て

支援策の都市間競争で負けられない現状など総合的に勘案し賛成すべきとの判断に至りました。無償化拡大により必要な受診の抑制を防ぐとともに、子どもたちが、自身の健康保持について学び、セルフケア能力を高めていく教育も必要との意見を申し上げ、賛成とします。

## 市議会会派「新しい風とよた」政務活動費の執行状況について

令和4年度執行実績(心が聴こえる市政の会)及び  
令和5年4月から令和6年1月までの執行状況

令和4年度執行実績

(一人会派 心が聴こえる市政の会)

項目	執行金額(円)
調査研究費	120,225
資料購入費	8,360
広報広聴費	106,000
事務費	5,737
合計	240,322
残額	359,678

※それぞれの支出項目に含まれている意思疎通支援者謝礼(手話通訳等)の総額は33,819円でした。残額については、全て市へ返納しています。

令和5年度執行状況(令和5年4月から令和6年1月まで)(三人会派 新しい風とよた)

項目	執行金額(円)	使用目的
研修費	371,893	「社会保障・社会福祉」、「第19回全国地方議員交流研修会in九州・長崎」などの各種セミナーほか
調査研究費	172,972	「伊西市まち・ひと・しごと創生総合戦略について」(伊西市)、「スポーツを生かしたまちづくりについて」(熊谷市)、「すくすくカード事業について」(板橋区)
広報広聴費	191,170	新しい風とよた会派会報、市民交流会
事務費	5,060	事務用品
合計	741,095	

※政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部を補助し、議員の政策形成能力や審議機能の強化のために、会派及び議員(会派に所属する者を除く。)に対して交付しています。交付額は一人あたり年間60万円以内で、余った額に返還しなければならないというルールがあります。各派の執行状況については豊田市議会ホームページや豊田市役所南庁舎1階にある市政情報コーナーで閲覧できます。

市政・議会に関する意見や要望などがございましたら、お気軽にご連絡ください。

【発行】心が聴こえる市政の会

【中島議員は耳が不自由です。ご連絡の際には、FAXかメールにてお願い申し上げます】

【発行責任者】中島 竜二 豊田市花園町小泉82-1 FAX.53-1499

E-mail:nakajimaryuji@outlook.com

https://nakajima-ryuji.com/

